

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 1 日

所属	人間社会学部	職名	教授	氏名	伊藤 宏一
研究課題	パーソナルファイナンス及びソーシャルファイナンスに関する研究 ー高齢社会と金融ケイパビリティー				
研究キーワード	金融リテラシー・金融コン ピテンシー・金融ケイパビ リティ	当年度計画に対す る達成度		1.目標を超える研究の進展・成果を達成した	
関連する SDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	12. つくる責任 つかう責任	13. 気候変動に具体的な対策を	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	

1. 研究成果の概要

2021 年度は引き続きコロナ禍の中、著作(共著)1 点及び論文 4 点の研究成果、5 回の研究報告をはじめとして、活発な学会活動を行うことができた。

本年度はパーソナルファイナンス並びにソーシャルファイナンスという研究領域全体について、特にサステナビリティの視点から研究を深めていった。

パーソナルファイナンスについては、金融能力論において、リテラシー・コンピテンシー・ケイパビリティに加えて高齢期における金融キャパシティという能力概念全体の分析と整理を行うことができた。またこの分野においては、サステナブル・ライフプランニングの概念化と論点整理をおこなった。

ソーシャルファイナンスについては、新たにサステナブルファイナンスの研究を開始し、論文を書き上げ、学会における討論も行なった。

また本年は、当該研究領域と関連する分野として、サーキュラー・エコノミーとシェアリングエコノミーを併せて「エシカル経済」とし、大学のサイト等に発表することができた。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

【著書】『SDGs と大学』千葉商科大学学長プロジェクト(共著 朝日メディアインターナショナル)2022 年 3 月
第 4 章 4.2 「千葉商科大学における ESG 投資の取り組み」

【論文】

(1) 「サステナビリティのためのライフプラン再設計」(『年金と経済』2021.4 Vol.40 no.1 公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構)

(2) 「つみけん報告書と 4 つの論点」(『2041 年、資産形成をすべての人に』2021 年 5 月 20 日 すべての人に世界の成長を届ける研究会 一般社団法人 投資信託協会)

(3) 「サステナブルファイナンスと個人の資産形成」(FP ジャーナル 2021 年 12 月号 NPO 法人日本 FP 協会)

(4) 「サステナビリティ時代の金融能力論ーリテラシー・コンピテンシー・ケイパビリティ・キャパシティー」(2022 年 3 月千葉商大論叢第 59 巻第 3 号)

【学会発表等】

(1)研究報告「OECD 教育 2030 と 3 つの金融能力—リテラシー・コンピテンシー・ケイパビリティ」2021 年 6 月 20 日 (生活経済学会第 37 回研究大会)

(2)討論「唐木宏一氏報告「持続可能な金融論の整理と展望」に対する討論」2021 年 6 月 20 日(生活経済学会第 37 回大会)

(3)パネル討論コーディネーター・司会「金融サービス提供法—金融サービス仲介業と FP のあり方」日本 FP 学会第 22 回大会 2021 年 9 月 4 日

(4)研究報告「NPO 法人日本 FP 協会の金融教育の取り組みと大学の金融教育における金融能力論」(第 93 回証券経済学会全国大会 特別テーマセッション「金融リテラシーと家計の金融」2021 年 9 月 11 日)

(5)研究報告「大学生向け金融教育の推進と課題—日本 FP 協会の取り組みをふまえて」(生活経済学会東北部会 2021 年 12 月 18 日オンライン)

(6)研究報告「大学生向け金融教育の推進と課題—日本 FP 協会の取り組みをふまえて」(生活経済学会九州部会 2021 年 12 月 18 日オンライン)

(7)研究報告「サステナブル・ライフプランニング—金融教育の視点から—」(「全ての人に世界の成長を届け研究会」一般社団法人投資信託協会 2022 年 3 月 30 日)

【その他】

オンライン講座『エシカル経済(Ethical Economy)』(<https://awake-and.com/course/ethical-economy/> 2021/5)

特集記事『エシカル経済—アフターコロナの世界を動かす新しい原理』(千葉商科大学 MIRAI Times)

第 1 回(2021 年 6 月 21 日 https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/special/u0h4tu0000002e0x.html)

第 2 回(2021 年 12 月 14 日 https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/special/u0h4tu0000002wf4.html)

書評: 駒村康平編著『みんなの金融 良い人生と善い社会のための金融論』(新泉社 2021 年) (『生活経済学研究』第 55 巻生活経済学会 2022 年 3 月発行)

書評:D.シューメイカー/W.シュローモダ著加藤晃監訳『サステナブルファイナンス原論』(金融事情財政研究会 2020 年)(『ファイナンシャル・プランニング研究』No.21 2022 年 3 月発行)

小論:『アスリートのライフプランニングと資産形成』(公益財団法人笹川スポーツ財団 2022 年 3 月

https://www.ssf.or.jp/ssf_eyes/spi/12.html)

3. 主な経費

特になし

4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)

特になし